

はばたき

上中学校図書館通信
2022年12月号
学校司書 松石かおる

☆12月12日から5冊貸出実施します！たくさん借りてね！

冬休み前のため、ひとり5冊借りられます。返却期限は、1/13(金)です。お休みの間、ゆっくり読書を楽しんでください。入学してからの貸出総数100冊越えを目指している人は、この期間が冊数を稼ぐチャンスです。気になっている本があればどんどん借りて読んでみましょう。「この本は最後まで読めるだろうか…」と悩む前に、まずは開いて読んでみましょう。たくさん読んでいくうちに、生涯の友となる本に出会えますよ。

☆三者懇談中の家族貸出も実施します！

保護者の皆様にも、図書館に足を運んでいただき、本を手にとっていただきたい思いで、家族貸出を実施しています。この企画を実施して、3年目となりました。少しずつ図書館に足を運んで下さる保護者の方も増えて来ました。図書館が生徒のみなさんだけでなく、保護者の方にも身近なものになればと思っています。12/20(火)は午後13時から16時20分まで。12/21(水)、22(木)は午前9時から12時、午後13時から16時20分まで開館し、家族の方も5冊本を借りていただけます。

〈新型コロナウイルス感染防止のために〉

- ・マスクの着用、図書館入口で保護者の方の記名、手指の消毒をお願いします。
- ・滞在時間は15分以内をお願いします。懇談の時間待ちとしての利用は、ご遠慮ください。

☆第7回 生駒市長杯ビブリオバトル 市内中学生大会があります！

日時:令和4年12月23日(金)

場所:生駒市図書会館 大会議室 予選 13:30～ 本戦 14:45～

観戦することもできます。ビブリオバトルの熱い戦いを、体感してください！

◆ビブリオバトルとは…◆

「人を通して本を知る 本を通して人を知る」がキャッチコピーの、本の紹介コミュニケーションゲームです。参加者がテーマに沿うお気に入りの本を持ち寄り、それぞれが5分で本の魅力を紹介します。全員が発表を終えたら、みんなで「一番読みたくなった本」に投票しチャンプを決定します。観戦だけの参加もできます。

☆おとなの読書会 無事に開催出来ました！

ずいぶん前から企画しながら、コロナ感染者数増加のため何度も中止になっていましたが、11月25日に11名の方が参加して下さい、和やかな雰囲気の中で作品について語り合う時間を持つことができました。年齢や立場の違いによって、内容の受け取り方も変わり、いろいろなことに気づかされました。次回もぜひ開催したいと思えます。興味のある方は、ぜひご参加ください。

☆新しく入った本(11/21～)

分類	書名	著者	内容
0:総記	多様性の時代を生きるための哲学	鹿島茂	目的を考えずにやった適当な思いつきが、思いがけない効果を発揮する
1:哲学	ラクしてうまくいく生き方 自分を最優先しながらちゃんと結果を出す100のコツ	ひろゆき (西村博之)	仕事も人間関係も心配事ももうちょっといい加減で大丈夫
3:社会科学	バナナの魅力を100文字で伝えてください 誰でも身につく36の伝わる法則	柿内尚文	ここに1本のバナナがあります。あなたの一言で、「食べてみたくなるバナナ」にしてください。
4:自然科学	ウソの教室 環境と社会の未来を考える	夜回り先生 いのちの講演 水谷修	君たちは生きて、生きて、生き抜いて、君たちのいのちを、次のいのちへとつなぐのです。
9:文学	ハヤブサ消防団	池井戸潤	のどかな集落でひそかに進行していた事件の存在一連続放火事件に隠された真実とは。
	奏鳴曲 北里と鷗外	海堂尊	感染症との終わりなき闘いに挑んだ二人の医師の「栄光」と「蹉跌」
	ラベンダーとソプラノ	額賀滯	私は子どもの頃からの「みんなで頑張る」というのがそれはもう苦手でした。みんなの言う「みんな」に私は入っておらず、みんなの言う「頑張る」と私の「頑張る」の形がちがうように思えてならなかったのです。(あとがきより)
	絶対名作！十代のためのベスト・ショート・ミステリー 謎解きミステリー	有栖川有栖/綾辻行人/道尾秀介	超一流の「本格ミステリー」を収めたアンソロジー
	レッドゾーン	夏川草介	医療の世界を目指す人、必読の書。現場で奮闘した者だけが書けるリアルな小説一池上彰
	葉桜と魔笛	太宰治+紗久楽さわ	不朽の名作が、いま新たによみがえる。
	キャプテン〔高校野球編〕 新たなプレイボール	ちばあきお・原作/山田明・小説	答えを知りたくて、少年たちは白球を追いかけた
	発注いただきました！	朝井リョウ	直木賞作家・朝井リョウが名だたる有名企業からの「ご依頼」に応えに応えた作品集！
	カゲロボ	木皿泉	人が惨めなやつだと思っても、私がそう思わないかぎり傷つかない。傷つくのは、自分自身が惨めだと思ったときだけ。
	会社員、夢を追う	はらだみずき	忘れた夢をとりもどす。志望とは遠く離れた職場に勤めた神井航樹が、多忙な日々の中、あきらめきれない夢と恋に近づいていく
はなの街オペラ	森川成美	浅草オペラの幕が上がる！ひとときの夢かもしれないけれどこんな瞬間があるから生きていける 大正時代を舞台にした歌と浪漫の物語	
後宮の鳥	白川紺子	リクエスト本 誰もが知る“彼女”の、誰も知らない正体	
後宮の鳥 2	白川紺子	鳥妃とは、なにも望まず、ひとを遠ざけ、ただひとり…	
一年間だけ。③ ずっとキミのそばにいたのに	安芸咲良	リクエスト本	

裏面もあります！

(12/2~)

分類	書名	著者	内容
1:哲学	なりたい自分との出会い方 世界に飛び出したボクが伝えたいこと	岡本啓史	〈元・落ちこぼれ中学生〉から10代の君へ、学び方・働き方が多様になる時代を自分らしく生きるアドバイス
3:社会科学	もしもに役立つ、いつものモノ選び 防災グッズは備えず使う！	松永りえ	ふだんに使えて非常時も役立つアイテム&収納のコツ100
4:自然科学	ちくまQボックス 科学はこのままでいいのかな	中村桂子	生きもの目線で未来を考えよう！私たちは生きものなのだから。
6:産業	天然生活 保護犬と暮らすということ	高橋尚子、笠原みなみ、時弘好香	家族になってくれるだけかを待っている保護犬が全国にたくさんいることを知ってもらい、1匹でも多くの犬が幸せになれることを祈って。
8:言語	ちくまQボックス 苦手から始める作文教室	津村記久子	文章が書けたらいいことはある？ 書くことで自分を見つける
	数え方図鑑	高野総太 発行者／やまぐちかおり 絵	身近のモノをなんでも数えてみたくなる！
9:文学	猫のお告げは樹の下で	青山美智子	リクエスト本 お告げの意味に気づいたときふわっと心があたたかくなる
	一年間だけ。④ キミの気持ちが知りたくて	安芸咲良	リクエスト本
	一年間だけ。⑤ いつもキミを見ていた	安芸咲良	リクエスト本
	奔流の海	伊岡瞬	読み終えたとき、あなたはきっと涙する 驚愕と慟哭の青春ミステリー
	あっちもこっちもこの世はもれなく	いとうみく	不公平だ！ぼくは背が低い。なのに、仲良しの希来里は努力なんかしなくたって、背が高くて、手も足も長い。
	余命 最後の日に君と	冬野夜空／森田碧／此見えこ／加賀美真也／蒼山皆水	5回泣ける、余命短編集 余命最後の日、あなたは誰と過ごしますか？
	だから私は、今日も猫をかぶる	水月つゆ	苦しくても無理して笑ってた。君が声をかけてくれるまではー。
	かなしみがやってきたらきみは	エヴァ・イーランド 著／いとうひろみ訳	いつかきみのところに かなしみがやってきたらーこわがらなくて いいんだよって そうおもったらどうか
かみはこんなにくちゃくちゃだけど	ヨシタケシンスケ	しあわせが、見つけにくい日も、あるけれど。	

(12/5~)

分類	書名	著者	内容
1:哲学	君は君の人生の主役になれ	鳥羽和久	学校や親が重くてしんどい人へ 大人たちの言葉の違和感を抱えながら、それでも自分独特の道を探るための本
3:社会科学	バカと無知 人間、この不都合な生きもの	橘玲	『言っではいけない』から6年、"きれいごと社会"の残酷な真実。これが、私たちの本性だ。
	聞く技術 聞いてもらう技術	東畑開人	聞かれることで、ひとは変わるー。カウンセラーが教える、コミュニケーションの基本にして奥義。
	校則が変わる、生徒が変わる、学校が変わる みんなのルールメイキングプロジェクト	吉野一徳／監修	校則・ルールを題材に対話で問い直す「学校づくり」
4:自然科学	神のいない世界の歩き方「科学的思考」入門	リチャード・ドーキンス著／大田直子訳	「科学的に考える」とはということなのか？『利己的な遺伝子』の生物学者がやさしく語る。
5:家庭	おいしくやせる！簡単スパイスカレー	印度カリー子	スパイスカレーは"食べやせ"の味方！
6:通信	切手デザイナーの仕事～日本郵便切手・葉書室より～	間部香代	日本の切手をつくるのは、たった8人のデザイナーたち。はじめて本になる、彼らの物語。
8:言語	会話を哲学する コミュニケーションとマニピュレーション	三木那由他	私たちは会話を通じて何を伝え、何を企んでいるのか。あるいは相手の心理や行動にどんな影響を及ぼそうとしているのか。27のフィクション作品を題材に、「会話」という営みを徹底分析！
9:文学	書齋の鍵 父が遺した「人生の奇跡」	喜多川泰	自分が幸せになることでしか、救えない人生がある。
	仕事で大切なことはすべて尼崎の小さな本屋で学んだ	川上徹也	目標もなく、なんとなく社会人になった出版取次会社の新入社員・大森理香が町の小さな本屋の店主と出会うことで「仕事とは何か？」を学び、成長していく物語
	キャプテン 高校野球編 めざせ夢の甲子園	ちばあきお原作／山田明小説	全力で、ひたむきに、少年たちは甲子園をめざした
	かげろうのむこうで 翔の四季 夏	斉藤洋	見えること、見えないこと そのほざまでもの思う少年の日々
	黒と白のあいだで 翔の四季 秋	斉藤洋	わたしたちの世界が刻々と変化する色彩のなかにあるように、「正しさ」も黒と白のあいだに無限のグラデーションとしてあるのです。(解説より)
	言葉を植えた人	若松英輔	暗闇にあるとき人は、一つの言葉を抱きしめるようにして生きることもあるだろう。
	IT MIGHT BE AN APPLE	ヨシタケシンスケ	『りんごかもしれない』の英語版。 Mightや would,couldを使った文章でニュアンスの違いを学ぼう

